

やすらぎ 短信

平成 29 年
10 月号

神無月（かななづき）



十月は太陰暦で神無月と言います。神無月の語源については、諸説あるようです。新穀で酒を醸す月なので「醸成月」（かみなしづき）が転じたという説。十月は雷が鳴らなくなる月であるから「雷なし月」の意とする説。神無月の無「な」は「の」の意で、「神の月」すなわち神祭りの月の意とする説。伊勢神宮の神嘗祭（かななめさい）が行われる月であるから「神嘗月」（かななめづき）の意とする説。稲作文化の日本では、収穫が行われる十月は最も重要な月であり、神無月は「神の月」として、神様に感謝を捧げる大切な月と言えます。

秋季例大祭を斎行

山岸 嘉平 副会長

井村 征治 総代

永年勤続表彰



去る九月二十日、馬場幸弘氏子会会長をはじめ役員総代氏子崇敬者多数ご参列のもと厳粛に秋季例大祭を斎行致しました。祭典では、浦幌町の農林水産業をはじめ商工業あらゆる産業の繁栄と氏子崇敬者の安寧をご祈念申し上げます。奉納行事では、浦幌神社神楽舞月姫会による美しい「豊栄舞」と浦幌剣道スポーツ少年団、浦幌町空手道スポーツ少年団による元気で力強い演武の奉納が行われ、子どもたちがお祭りに花を添

えて下さいました。また、式典に際しまして、浦幌神社永年勤続表彰式が行われ、山岸嘉平氏子会副会長・井村征治総代が十年以上の勤続奉仕の功績により表彰を受けられました。この場をお借りし、永年に亘るご奉仕、崇敬の念に神社関係者一同心より感謝申し上げます。



宮司の一筆

収穫の秋を迎え、日本では古来より、収穫された「お米」を神様へ奉る大事なお祭りが行われてきた。来る十月十七日には、伊勢神宮で神嘗祭(かんなめさい)が斎行される。このお祭りは、その年に収穫された新穀を天照大御神に奉るお祭りで、伊勢神宮の祭典の中で最も重要なお祭りの一つである。また、十一月二十三日には、宮中で新嘗祭(にいなめさい)が斎行される。このお祭りは、天皇陛下が神嘉殿において新穀を天照大御神はじめ天地の神々奉り、神恩を感謝された後、天皇陛下自らもお召し上がりになるお祭りである。この日にあわせて全国各地の神社でも新穀感謝のお祭りが斎行される。日本人は、古来より、天皇陛下から国民に至るまで「お米」を神へ奉ることを大切にしてきた民族である。各ご家庭でも「いただきます。ごちそうさま。」と言葉と共に手を合わす日本人の美德を伝えていくことが大切である。

秋季乳神神社祭を斎行

去る九月二十一日午前十一時より、秋季乳神神社祭を斎行致しました。木下和枝奉賛会長をはじめ氏子崇敬者が参列し、日頃の感謝の思いを玉串に込めてご祈願致しました。



秋季社日祭を斎行

九月二十一日午後一時より、秋季社日祭を斎行致しました。社日祭は毎年、春と秋に行われており、農事安全と豊作を祈願するものです。この度、宮本建設(有)様・佐藤板金様より、社日碑の由緒書き看板を奉納頂きましたので、社日祭にあわせて清祓式を行い、お披露目を致しました。



七五三参りのご案内



平成二十九年の該当者(数え年)

男の子 平成二十七年生 三歳

平成二十五年生 五歳

女の子 平成二十七年生 三歳

平成二十三年生 七歳

十一月末まで予約にてご奉仕致します。

(玉串料三千円よりお気持ち)

浦幌神社行事予定

十月一日 月次祭
十月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八